

社会科シラバス 高校3年

1. 学習の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(科目) 世界史演習	3 単位	第3 学年	『世界史 基礎問題精講』 旺文社（教科書） 『大学入学共通テスト世界史トレーニング問題集』山川出版社（補助教材）
学習の到達目標	・資料の読み取りを通して真理を追究していこうとする姿勢や、得られた知識・技能を実社会に役立てようとする意欲を養う。〔Science〕 ・世界全体を俯瞰するグローバルな視点と地域の問題を掘り下げて把握するローカルな視点を併せ持つ柔軟な思考力を養い、それに関する自分の考えや価値観を発信できるとともに、社会の中で自身に求められている役割を認識する。〔Global〕 ・探究心を持ち、物事を論理的にとらえ、現在世界各地で起きている問題を歴史的な視点から読み解き、よりよい解決策を導き出す。また、その解決策を実行するために、他者の意見を尊重しながら協働できる人間になる。〔Liberal Arts〕		
評価の観点	授業に前向きに取り組み、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞ 世界の歴史を学びながら、それぞれの出来事を比べたり、複数地域のつながりや影響を探究し、自分の考えを発信することができる。項目をただ暗記するのではなく、「原因→経過→結果」という因果関係をつかむことで、社会を動かす躍動感を体感する力をつける。＜思考力・判断力・表現力＞ 諸課題の形成過程について考察したり、資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの
- B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- C：「努力を要する」状況と判断されるもの
- D：未提出、未実施

2. 学習内容及び評価方法

時期	単元	学習のねらい・到達目標
1学期 中間 まで	古代諸地域 中国史（古代～清帝国） イスラーム世界の成立と発展	・問題演習を通して、既習範囲を復習する。 ・高校2年次に学習した古代～イスラーム世界の成立までの流れを理解し、説明できる。
1学期 期末 まで	イスラーム世界の伝播 中世ヨーロッパ 近世ヨーロッパ	・問題演習を通して、高校2年次に学習したイスラーム世界の広がり、ヨーロッパにおける中世～近世までの流れを復習し、説明できる。
2学期 中間 まで	近世ヨーロッパ 近代ヨーロッパ	・近世から近代におけるヨーロッパの時代の流れを復習・理解し、説明できる。
2学期 期末 まで	中国史（アヘン・アロー戦争） 帝国主義 第一次世界大戦 世界恐慌とファシズム 第二次世界大戦と戦後世界	・近現代にかけての流れを理解し、説明できる。 ・第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし、20世紀の変動の機転となったことを理解する。 ・第一次世界大戦の帝国主義諸国間の覇権争いとしての性格、経過と影響に関する基本的な知識を身につけている。

評価の観点及び内容	評価方法（具体例）
学習範囲を主体的に予習している。＜主体性＞	週2回行う小テスト
設定された課題に対する自分の考えを、他者にも読み取れるように適切に説明することができる。＜思考力・判断力・表現力＞	授業内試験
歴史的な知識を身につけられている＜知識・技能＞	授業内試験